

# フットボールクラブ王五(FC王五)指導指針

## 《基本理念》

サッカーを通じて子供たちの健全な精神の育成と体力の増進を図り、個々の技術の向上に励み、また地域社会へも貢献する。

## 《基本方針》

1. 礼儀正しく、誠実に、そしてお互いを尊重し全員でチャレンジする。
2. サッカーを楽しみ、自主性を育てる。
3. 目標を持ち、楽しく基本技術を習得する。
4. 持続性を持ち、反復のなかでスキルを高める。
5. 未就学児から6年生まで一貫した指導をする。

## 《指導方針》

### ■ 個々の基礎技術の向上

#### ◆未就学児～1. 2年生

ボール遊びの中からサッカーの楽しさを学び、ボールとの一体感・俊敏性を身につけさせる。

#### ◆3. 4年生

サッカーの基礎技術(蹴る、止める、運ぶ、観る)と基礎体力の向上させる。

#### ◆5. 6年生

個人技(スキル)の向上を図りながら、個人で局面を開けるプレーヤーを育てる。

### ■ 考える力、判断する力の向上

フィールドの子供達が、自主性と協調性・積極性を持ち、ゲームの流れを自分たちで判断し、考えられるように指導をする。

### ■ 仲間を大事にする心の醸成(チームワークの大切さを学ぶ)

個人プレーに走らず、常にチームの仲間と同調し、助け合い、人を思いやる優しい心と、逆境に屈しない強い心を持ったプレーヤーの集団となる事を目指す。

### ■ スポーツマンシップの構築

挨拶の大切さ、関ってくれる全ての方々への感謝の気持ちを常に持ち続けることが出来る選手への育成を目指し、更に、少年スポーツの精神に則って、正々堂々と戦い、勝利の喜び、敗戦の悔しさを子供たちと共に共有する。

## 《チーム目標》

「良いゲームで勝利する！」

## 《チームスローガン》

「みんなで西が丘で優勝しよう！」

## ■ みんなの約束(部員の心構え)

良きサッカー選手になる為には日頃から規律やルールを守る事は大切な事柄だと考えます。  
子供たちの自立性を育む為にも責任を持った行動を要求します。

- (1) 大きい声であいさつしよう。
- (2) 時間を守ろう。
- (3) 人の話をきちんと聞こう
- (4) 自分で体調管理を行う
- (5) 自分で持ち物の整理、管理を行う。

## ■ 指導部からお願い

私たち大人は「みんなの子どもをみんなで育てる」という立場に立ち、協力してよい環境作りに努めましょう。

- ①サッカーができるよい環境の整備(練習日、練習時間、指導者の招聘)
- ②保護者間でよい関係を築く。(車出し、グラウンド当番などの協力関係など)
- ③保護者、指導者間でよい関係を築く。(互いの役割を理解しこなすこと)

### 1 父母会との協調

父母会	指導部
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当番・引率</li><li>・ 試合での車出し(選手の搬送)</li><li>・ 会場設営</li><li>・ 試合でのお茶出し</li></ul> <p style="text-align: center;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サッカーの技術指導</li><li>・ 試合での選手起用、ベンチワーク</li><li>・ 子どもたちの関係調整</li><li>・ 父母会との連携</li><li>・ 他チームとの連携(練習試合の開催)</li><li>・ 北区少年少女委員会等との連携</li></ul> <p style="text-align: center;">など</p>

### 2 応援の姿勢

日本サッカー協会が発刊している少年期の指導ガイドラインに掲載されている、アメリカにおける「キッズゾーン」についてご紹介しておきます。

すべてを遵守するのは大変だと思いますが、よろしくお願いします。

#### ★キッズゾーン～American Youth Soccer Organization(ユース関連団体の1つ)

タッチライン側で応援する親やコーチのネガティブな行動を排除するためのプログラム  
ちなみにこれらを遵守する誓約書にサインしないと試合を応援できないのだそうです…

#### <要約>

- できる限り時間を作って試合や練習を見に行きましょう  
(子供たちはそれを望んでいます)
- 選手たちの判断を尊重しましょう  
(外からの声で彼らの判断に圧力をかけない)

- レフリーの判定を批判しないようにしましょう  
(ミスジャッジもサッカーのうち。子供たちがフェアプレーの精神を学ぶのを邪魔しない)
- 試合ではすべての子供を応援しましょう  
(チームのサポーターとして)
- 相手チームのいいプレーにも拍手をしましょう  
(敵ではなくサッカーを愛する仲間)
- 試合後、楽しかったか、エキサイティングであったかを聞いて見ましょう  
(あまり勝敗に大人がこだわることはよくない)

### イビチャ・オシムの言葉

大事なのは今日の結果ではなく、明日子供がどんなプレーをするかを楽しみにすること。  
勝つことと育てることは、矛盾すると同時に矛盾しない。  
その矛盾の間でコーチは生活している。

### 【参考】

#### 日本サッカー協会の指導指針

- (1) 「1対1の攻守が弱い」ことを克服するために、U12年代では徹底的にボールに関わる1対1に焦点を当てて取り組んできたが、さらにそこから1歩進んで、チームメイトとの効果的な関わりの中で効果的に状況を打開できる個を育成する。
- (2) 動きながらの技術の精度を上げる
- (3) ゲームの主導権を握るために、
  - ① ボールに寄る
  - ② パスしたら動くといった基本の徹底を図る。
- (4) トレーニングでは克服すべき課題の個々のテーマに固執するのではなく、サッカーをすることをトレーニングの中心課題とする。
- (5) どんな状況においても、プレーを続ける強い意志を持ったたくましい選手の育成